

TOTO 自動洗浄大便器施工説明書 AC100Vタイプ

(CS800・CS800A)

製品の機能が十分発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。

安全のために必ずお守りください

施工の前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
この説明書では、安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味はつぎのようになっています。



警告

この表示の欄の内容を無視して誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。



注意

この表示の欄の内容を無視して誤った取扱いをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性があることを示しています。



警告

通電時は危険ですので端子台には絶対に手を触れないでください。感電する恐れがあります。また電源には交流100Vを使用してください。交流200Vを使用しますと火災や故障の原因となります。

万一の際の危険防止のため、必ず過電流しゃ断器、漏電しゃ断器を設置してください。火災、感電、漏電の原因になります。

浴室など湿気の多い場所に設置しないでください。故障、漏電の原因になります。



注意

必ず2人以上で施工を行ってください。腰を痛めたり、陶器をおとして破損する可能性があります。

施工後必ず試運転し各部に漏水のないことを確認してください。家財を汚す原因になることがあります。

■取付前に

- 水道工事と電気工事は十分に工程を打合せの上行ってください。
- 電源線は現場でご用意ください。
- アース接続は不要ですので、2芯の電源線をご使用ください。

⚠ 警告 浴室など湿気の多い場所には設置しないでください。

⚠ 警告 万一の際の危険防止のため、必ず過電流しゃ断器、漏電しゃ断器を設置してください。
使用電源：600Vビニール絶縁電線又はケーブル（φ1.6、φ2.0mmの単線もしくは2.0mmのより線）

- 電源線はAC100V（50/60Hz）最大消費電力は30Wです。必ずこれに適した配線を行ってください。
- 給水圧力範囲は最低必要水圧0.07MPa（20ℓ/min流動時）最高水圧0.75MPaです。この範囲でご使用ください。水圧が確保できない場合は機能を発揮できません。
- 給水管径は25A以上で行ってください。
- 工具で六角レンチ（5mm）が必要です。
- オプションのリモコン（HD800）を使用する場合は、別途配線工事が必要となります。リモコン付属の施工説明書にしたがって施工してください。

⚠ 注意 飲用できない井戸水（地下水）、中水及び工業用水は使用しないでください。皮膚の炎症や部品の腐食を起こす原因になります。

⚠ 注意 凍結のおそれがある地域では、凍結防止工事を行ってください。漏水のため家財に損害を与えるおそれがあります。

⚠ 注意 シートペーパー等をご使用の際は、洗浄流量の設定変更が必要です。SW切替要領を参照ください。

⚠ 注意 便器を交換する場合には、設置現場の給水元栓を開けてください。便器内の止水栓は、便器洗浄バルブまたは温水洗浄弁用です。

仕 様

■仕様

品	番	CS800		CS800A	
製 品 寸 法	(W) (D) (H) 355 × 735 × 486 (座面高さ380)	(W) (D) (H) 355 × 735 × 523 (座面高さ417)			
製 品 重 量	約 34 kg		約 37 kg		
電 源	AC100V 50/60Hz				
消 費 電 力	常時 6 W 作動時 30 W				
自 動 洗 浄	標準装備（着座時間で大小判定） 注 1）				
洗 浄 方 式	サイホンゼット式（シーケンシャルバルブ仕様）				
洗 浄 水 量	大：8 L 小：6 L				
洗 浄 時 間	大洗浄（8 L）時：約 25 秒 小洗浄（6 L）時：約 18 秒				
洗 浄 音	約 68 dB				
感 知 必 要 時 間	15 秒以上（15 秒未満では作動しません）				
給 水 接 続	25 A				
給 水 圧 力	最低必要水圧 0.07 MPa（20 L/min流動時）最高水圧 0.75 MPa				
使 用 温 度 範 囲	0 ～ 40℃（水温は 0 ～ 35℃）				

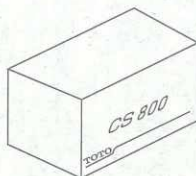
注1）自動洗浄はOFFにすることができます。（信号装置の設定を参照）
この場合も大洗浄・小洗浄の自動判定ができます。

■品番一覧表

新設/リモデル	排水接続	仕 様	総合セット品番	便器品番	排水芯	排水ソケット品番	排水フランジ	備 考
新設仕様	塩ビ管仕様	一般	CFS800	CS800	255mm	HP800	不 要	75・100/VU・VP対応
		車いす	CFS800A	CS800A				
	鉛管仕様	一般	CFS800Z1	CS800		HP800E	T53WR100	
		車いす	CFS800AZ1	CS800A			T53WR75	
リモデル仕様	一般	一般	CFS800M	CS800	255・305	HP800M	不 要	
		車いす	CFS800AM	CS800A	405mm			

■梱包

陶器部と排水ソケットおよび排水フランジの総合セットです。



陶器部 (CS800)



排水ソケット部 (HP800E)



排水フランジ部 (T53WR100)

■梱包部品

名 称	略 図	CFS800	CFS800Z1	CFS800Z7	CFS800M	CFS800A	CFS800AZ1	CFS800AZ7	CFS800AM
便器		1	1	1	1	1	1	1	1
上蓋		1	1	1	1	1	1	1	1
陶器部	固定片 (前)	1	1	1	1	1	1	1	1
	固定片 (横)	2	2	2	2	2	2	2	2
	座金	6	6	6	6	6	6	6	6
	木ねじ (固定片用)	6	6	6	6	6	6	6	6
	皿木ねじ (便器固定用)	3	3	3	3	3	3	3	3
	ニップル	1	1	1	1	1	1	1	1
	ソケット	1	1	1	1	1	1	1	1
	クイックファスナー	1	1	1	1	1	1	1	1
	寒ざ蓋	1	1	1	1	1	1	1	1
	化粧キャップ	3	3	3	3	3	3	3	3
排水部	取扱説明書	1	1	1	1	1	1	1	1
	施工説明書	本紙	1	1	1	1	1	1	1
	塩ビ排水管用ソケット	1	—	—	—	1	—	—	—
	鉛管排水管用ソケット	—	1	1	—	—	1	1	—
	VU75用アダプタ	1	—	—	—	1	—	—	—
	VU100用アダプタ	1	—	—	—	1	—	—	—
	VP100用アダプタ	1	—	—	—	1	—	—	—
	便器接続部	—	—	—	1	—	—	—	1
	フランジ接続部	—	—	—	1	—	—	—	1
	横引管A	—	—	—	1	—	—	—	1
梱包部	横引管B	—	—	—	1	—	—	—	1
	Pシール (金属フランジ用)	—	—	—	1	—	—	—	1
	Pシール (樹脂フランジ用)	—	—	—	1	—	—	—	1
	木ねじ (排水ソケット用)	3	2	2	2	3	2	2	2
	Tボルト (ナット・座金付)	—	—	—	2	—	—	—	2
	施工用型紙 (塩ビ管用)	1	—	—	—	1	—	—	—
	施工用型紙 (鉛管用)	—	1	1	—	—	1	1	—
	施工用型紙 (リモデル用)	—	—	—	1	—	—	—	1
	フランジ (75mm鉛管用)	—	—	1	—	—	—	1	—
	フランジ (100mm鉛管用)	—	1	—	—	—	1	—	—
排水フランジ部	Pシール	—	1	1	—	—	1	1	—
	Tボルト (ナット・座金付)	—	2	2	—	—	2	2	—
	皿木ねじ	—	4	4	—	—	4	4	—
	取付説明書	—	1	1	—	—	1	1	—

作動のしくみ

この自動洗浄大便器には、3つ（リモコンなしの場合2つ）の操作方法があります。

■自動洗浄（自動洗浄ありの場合）

①感知

- ・便器に腰かけるとセンサが感知します。



※使用者を感知するとセンサ表示灯が点滅し、押ボタンが点灯します。



②洗浄

- ・使用後、便器から離れると水が流れます。（約6秒後）

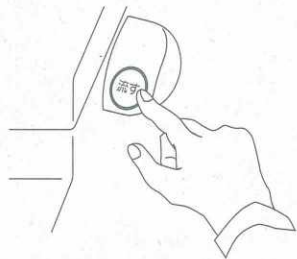


※着座時間120秒以内で使用者が立ち去ったときは小洗浄、120秒を超えると大洗浄をします。（90秒設定へも変更可能です。）

※15秒以上連続感知したときに着座と判断します。

■押ボタン洗浄

- ・使用後、ボタンを押すと水が流れます。



※センサが15秒以上使用者を感知した後、ボタンを押した場合は、自動洗浄を行いません。なお使用者を感知せずに押ボタン洗浄を行うと大洗浄となります。

※ボタンを3秒以上押すと「お掃除モード」となり1回洗浄し、10分間洗浄を停止します。もう一度押すと通常通り洗浄を行います。

■リモコン洗浄（オプション）

- ・1秒以上手をかざすと水が流れます。

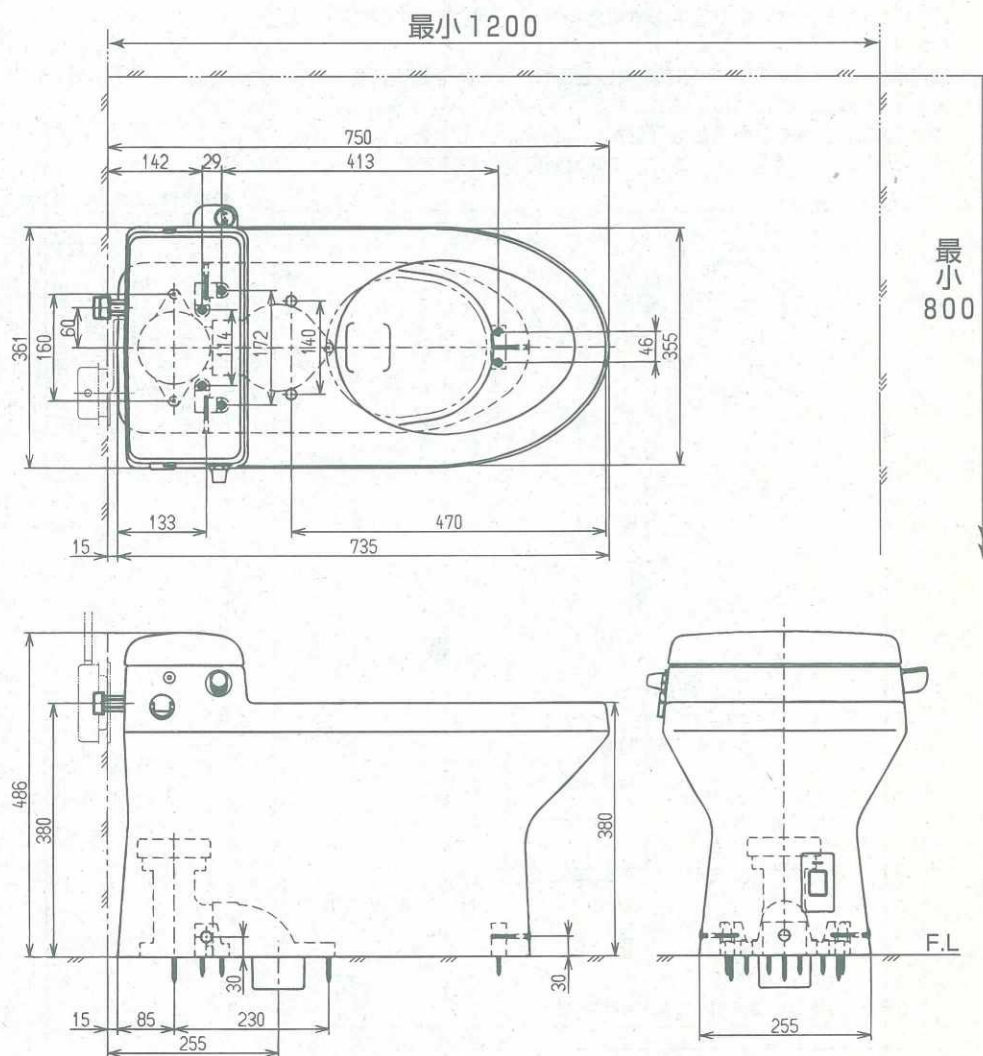


※センサが15秒以上使用者を感知した後、リモコン洗浄を行った場合は、自動洗浄を行いません。なお、使用者を感知せずにリモコン洗浄を行うと大洗浄を行います。

便器施工完成図

※取付けならびにセンサーの最低感知領域を確保するため下記トイレスペースをご確認ください。

CS800 新設の場合

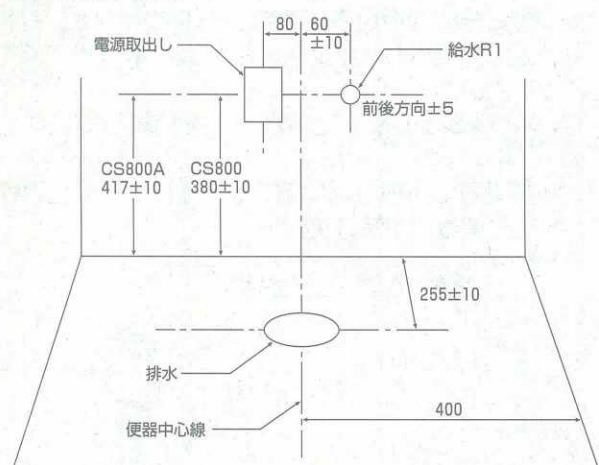


施工の手順

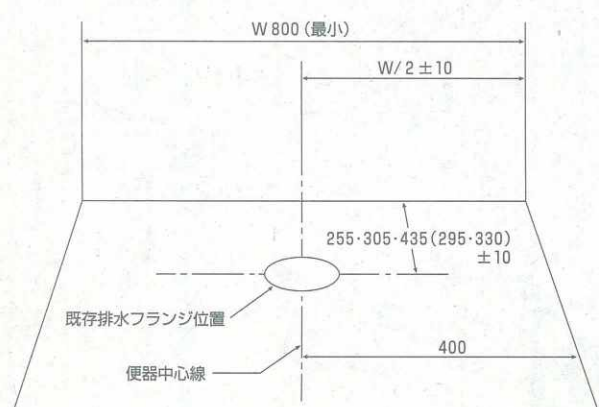
1 電源・給・排水位置

電源取出し・給水・排水は下図の位置に取付けます。

■新設の場合

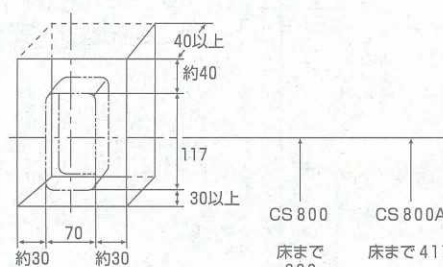


■リモデルの場合の排水位置



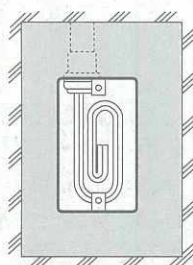
2 スイッチボックス下地壁のはつり

下図の位置・寸法にあわせて下地壁をはつります。



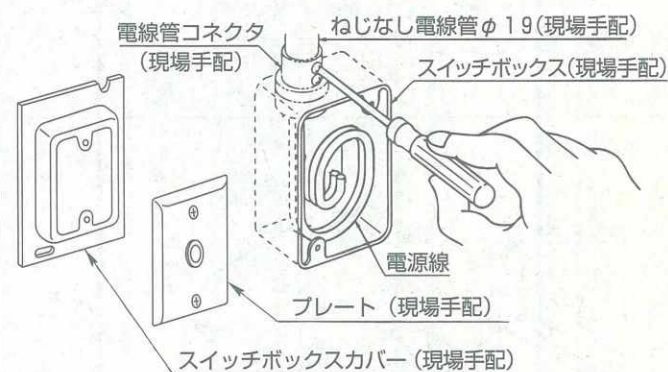
4 下地壁の埋戻し

スイッチボックスの周囲をモルタルで埋戻します。



3 スイッチボックスの取付け

電線管コネクタにより電線管φ19(JIS C8305 呼びE19)とスイッチボックス(JIS C8336 1個用スイッチボックスカバー付き)を接続し、電源線を電線管に通してスイッチボックス内に引き込みます。



※スイッチボックス（カバー付き）・電線管及びコネクタは現場手配です。

※電源線はスイッチボックスより、必ず50cm位余裕をもって引き出し、スイッチボックス内にまゐりていれてください。

※電線は、600Vビニール絶縁電線またはケーブル（φ1.6、φ2.0mmの単線または2.0mmのより線）を使用してください。

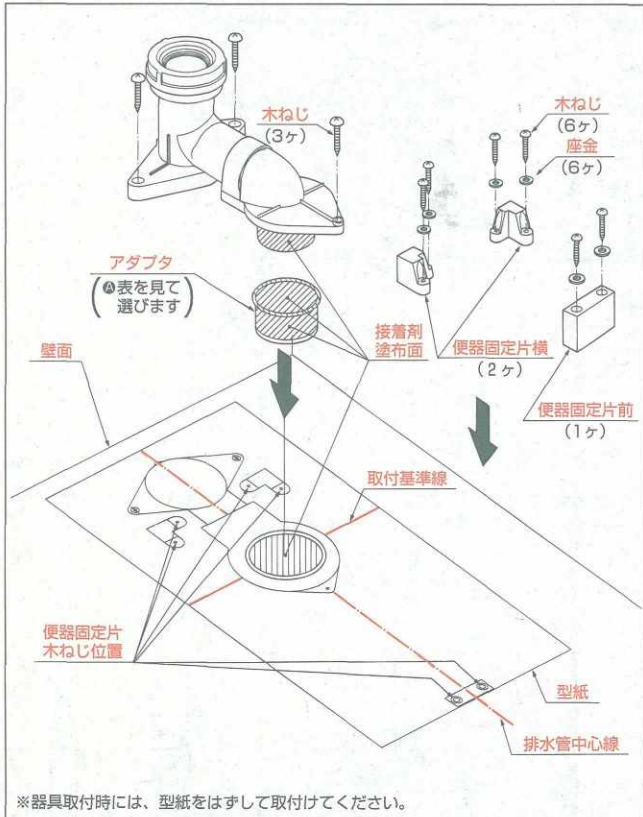
※アース線は不要ですので、2芯の電源線を使用してください。

※リモコン（HD800）用スイッチボックスの取付けに当たっては、リモコン付属の施工説明書にしたがってください。（オプション）

5 排水ソケットの取付け

●塩ビ排水管HP800の場合（壁面から排水管までの距離255mm）

1. 排水管中心線をけがいてください。
2. 排水管を基準に型紙を置き排水ソケット固定位置及び便器固定片固定位置をけがいてください。
3. 床の排水管を確認してA表から必要なアダプタを選びます。
4. 排水ソケットの差込部外周と必要アダプタの内外周面（A表の斜線部）に塩ビ用接着剤を塗り、排水管いっぱいまで埋め込みます。
排水ソケットは、排水管中心線に合わせて、図の方向に取付けてください。
一度接着すると手直しができませんのでご注意ください。
5. 排水ソケットの取付け穴に木ねじを入れ、3カ所を確実に締めてください。
※床に木ねじをねじ込む前にφ3程度の下穴を開けると作業がしやすくなります。
※壁面に巾木があり便器が取付かない場合には、巾木をカットしてください。
6. 便器固定片3個を座金・木ねじで6カ所確実に締めてください。



※器具取付時には、型紙をはずして取付けてください。

※AYボルト固定の場合は別途TH800AYが必要です。

▲排水管とアダプタの組合せ

排水管	なし
φ 75 VP	なし
φ 75 VU	φ 75 VU用
φ 100 VP	φ 100 VP用
φ 100 VU	φ 100 VP用 + φ 100 VU用

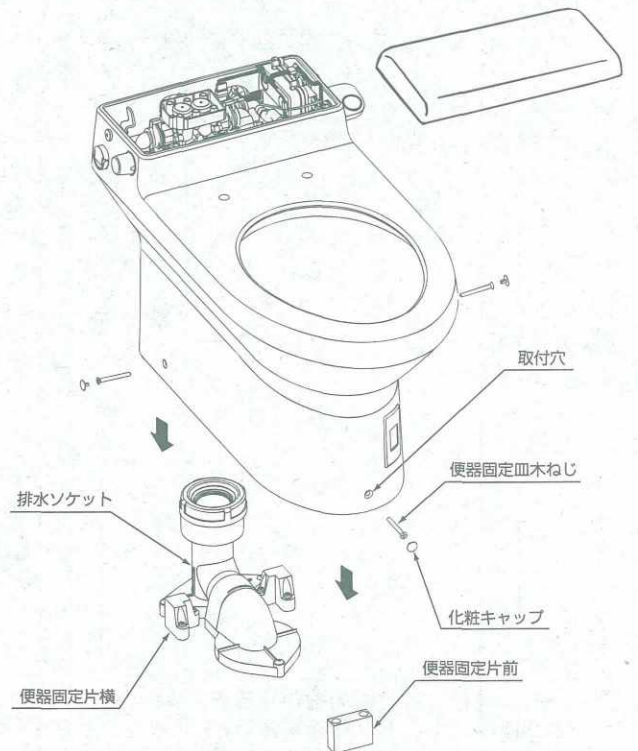
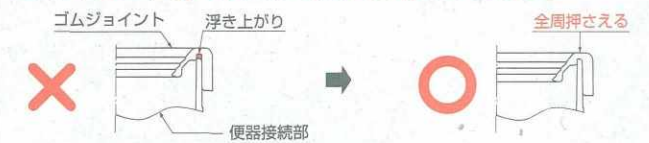
※製品品番により排水ソケットが異なります。
それぞれの排水ソケットの型紙にしたがって施工してください。

6 便器の取付け

■便器排水口周辺のゴミや汚れを取り除き、排水口を排水ソケットの便器接続部に差し込んでください。

注意

便器を取付ける前に、ゴムジョイントが排水ソケットの便器接続部にきちんと取付いていることを確認してください。
きちんと取付いていないと漏水するおそれがありますので必ず、ゴムジョイントを押さえ込んで便器を取付けてください。



▲注意 便器固定皿木ねじは先ず横側2ヶ所を片締めしないよう左右均等に締め付けた後、前側を最後に締め付けてください。

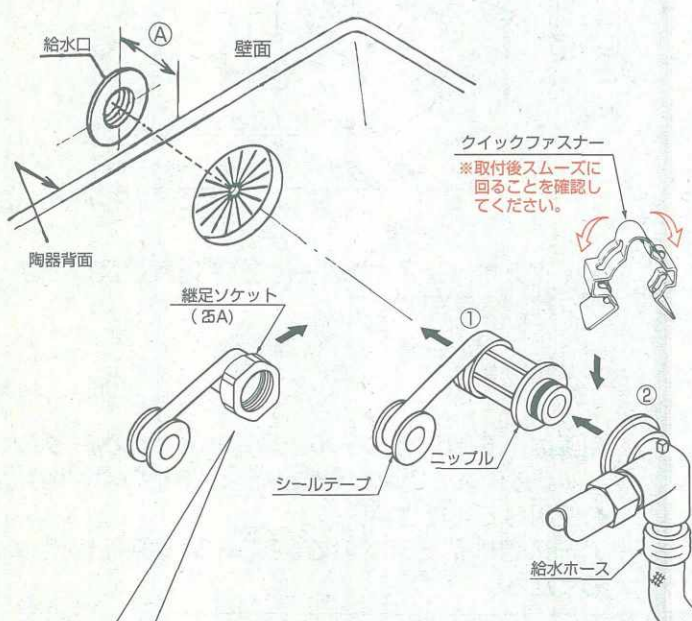
7 給水の取付け

- ①同梱のニップルにシールテープを巻き便器開口部から給水口へ取付けてください。
- ②ニップルを給水ホースへ接続します。

▲注意 ニップルのOリングにごみの付着やキズ付きがないようご注意ください。

- ③同梱のクイックファスナー中溝につばが入るまで押し込みます。

▲注意 クイックファスナーを前後に回転させてニップルと排水ホースの接続具合を確認ください。クイックファスナーの接続が不完全だと漏水の原因になります。



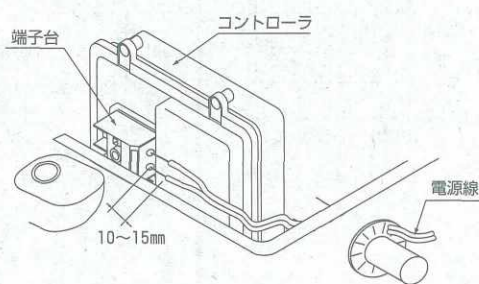
※壁面の給水口から陶器背面までのA寸法が30mm以上ある場合は同梱の継足ソケットをご使用ください。

8 電源線の接続

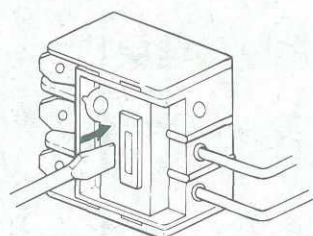
■スイッチボックスから電源線を引き出し便器後方の開口部からコントローラ端子台へ接続してください。

※先端の被覆を10～15mm程度むいて差し込んでください。

※より線の電源線の場合は、絶縁被覆付棒型圧着端子（1.75～2mm²用）をかきめてからコントローラ端子台へ接続してください。



取り外し



※誤って電源線を接続した場合は必ずマイナスイニシャで電源端子台側面の白い部分をおして取り外してください。無理に引きぬきますと、コントローラが破損する恐れがあります。

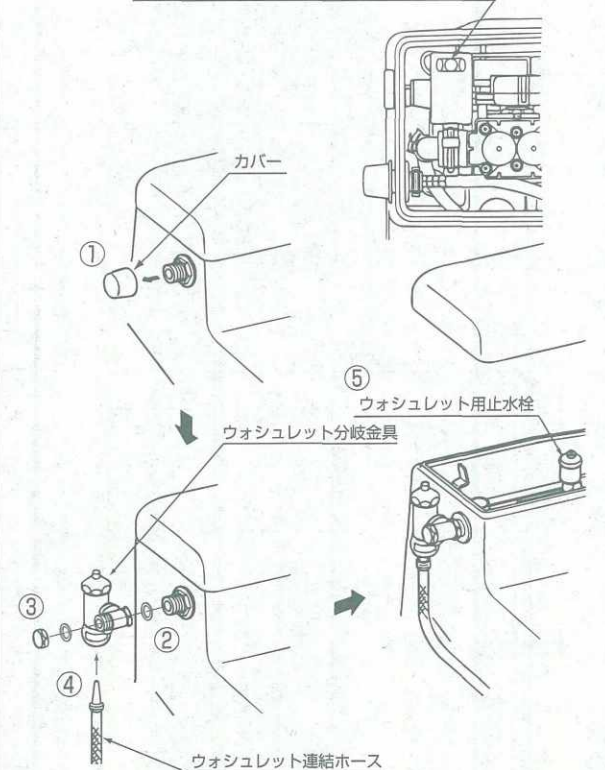
9 ウォシュレットを取付ける場合

■陶器側にウォシュレット分岐金具を内蔵していますので簡単にウォシュレットを取付けることができます。

下記要領に従って施工してください。

- ①陶器左側面のカバーを外してください。
- ②ウォシュレット付属の分岐金具を下図のように取付けてください。
- ③陶器に同梱の塞ぎ蓋ならびにウォシュレットに同梱のパッキンを分岐金具に取付けてください。
- ④ウォシュレット連結ホースを接続してください。
- ⑤便器に内蔵しているウォシュレット用止水栓を開ければ完了です。

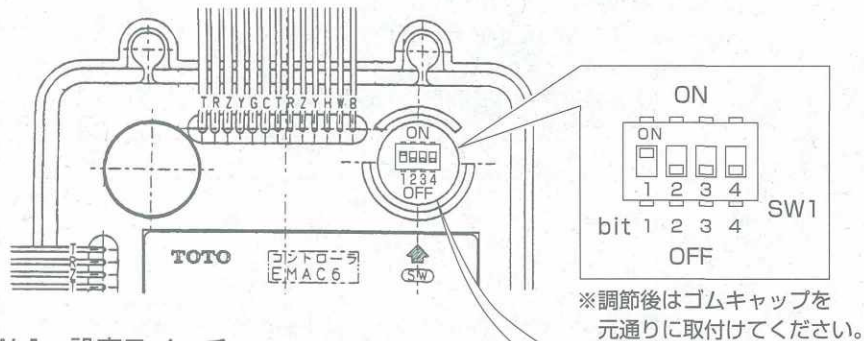
ウォシュレットを取付ける際に使用する塞ぎふた



信号装置の設定

工事出荷時点で設定していますので、通常は調整する必要はありません。
設定変更が必要な場合は次の要領で行ってください。

■コントローラ(SW)部のゴムキャップを開けスイッチで設定します。



■SW 1: 設定スイッチ

※工場出荷時は次のように設定しています。

- ・bit1 (ON) 自動洗浄あり
- ・bit2 (OFF) 大/小判別時間 120 秒

bit1 自動洗浄あり・なしの変更

●自動洗浄は、工場出荷時は「あり」になっています。必要に応じて切り替えてご使用ください。

1. コントローラの右側のゴムブッシュをはずします。
 2. 精密ドライバー等で1番のスイッチをOFF側に切り替えます。
- ※掃除モードにすることによって自動洗浄オフの状態にすることもできます。
(ただし押ボタン洗浄のみ可能で、洗浄した場合自動洗浄オンの状態に復帰します。また洗浄しなかった場合10分で自動洗浄オンになります)

bit2 大/小判別時間(90秒・120秒)の変更

●大小判別時間は、工場出荷時は「120秒」になっています。(人体を感知している時間が120秒を超えた場合「大」と判定し、大洗浄の水量を流します。120秒以内の場合「小」と判定し、小洗浄の水量を流します。)必要に応じて切り替えてご使用ください。判定時間は90秒と120秒の2種類です。

1. コントローラの右側のゴムブッシュをはずします。
2. 精密ドライバー等で2番のスイッチをON側に切り替えます。

試 運 転

①通電前に通水し、ニップルと給水ホース、ならびにその他の接続部において漏水がないことを確認します。

②電気配線に間違いがないことを確認後、通電してください。
※通電してから10秒後にセンサは壁の位置を記憶します。(通電直後のみ)

③設定時間で大/小洗浄が動作することを確認してください。

- ・自動洗浄……………人体検知センサに設定時間(15秒+120または15秒+90秒)以内と以上感知させ退けたとき
- ・洗浄操作ボタン…同様に感知させボタンを押したとき
- ・リモコン……………同様に感知させリモコンに1秒以上手をかざしたとき(オプション)

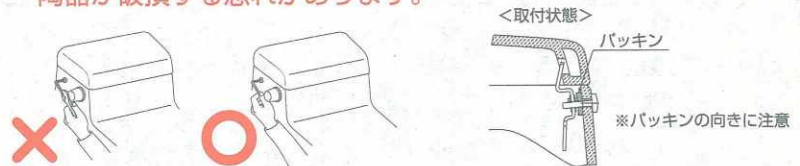
④掃除モードによる洗浄一時停止が動作することを確認してください

- ・洗浄操作ボタンを3秒以上押すと押ボタン周囲の表示灯が点灯から点滅に変わり、水が流れないこと。(1回洗浄後10分間自動洗浄停止)また、10分以内でボタンを再度押すことにより、点滅から点灯に変わり通常通り水が流れることを確認します。

- △注意
- ・バルブユニットに接続しているメインの止水栓は全開状態になっていることを確認してください。
 - ・現場の給水圧が高い場合、給水音が高くなる場合があります。その場合は止水栓を絞って調整してください。
(このときに便器が確実にサイホンを起こすことを確認ください。)
 - ・ウォシュレット分岐用止水栓は、通常閉となっていることを確認してください。(ウォシュレット取付けの場合のみ開)

⑤試運転確認後、便器の上蓋を取付けて完了です。

- △注意
- ・上蓋固定ボルトを締め過ぎないようにしてください。
陶器が破損する恐れがあります。



止水栓フィルタの掃除

1. マイナスドライバーで止水栓を閉めます。
2. 止水栓蓋をソケットレンチ等で外して、フィルタを取り出します。
3. フィルタの目詰まりをブラシ等で軽く除去します。
4. フィルタ、止水栓蓋を元どおりに取付けます。
5. 止水栓を全開にします。

※止水栓は全開状態でご使用ください。止水栓を絞ると製品の機能が十分発揮されなくなります。

